事務事業名   単位老人クラブ補助事業	€  平成19年度								
担当課	子								
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】									
政策									
総合計画体系 施策 02 生きがいをもたらす高齢者福祉									
基本事業 01 社会参加の促進									
社会委員の担任 教養 久種フポーツやレクリエーションなどの活動を通して京場	 合者の交流								
事業の目的と社会参加の場を増やす。	F H								
単位タトクラブの活動患助成会として、さくた市健康短知事業補助会な付更綱に其	まづき、補								
事業の概要 助金を交付する。	2 - 2 ( 1111								
■事業実施結果【実施(Do)】									
年度 5年度 6年度	7年度								
事業費の推移 実績/当初予算 実績 実績	当初								
総事業費 1,907 1,803	0								
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
指標 <sub>比博名我</sub> 5年度 6年度 7年	F度 8年度								
	·画計画								
	C40								
指標の推移   成果   単位老人クラブ会員数   人   761   679   637	640								
評価 ○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず	•								
達成度の 老人クラブ数、会員数ともに減少傾向の一途である。市が自主運営や事	業の支援を行うほ								
評価と説明 説明 か、他市の活動例を参考に会員数を増やし、より積極的な活動ができる									
から補助金の増額を図ったが年々会員数は減少している。									
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【改善(Action)】	_								
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
	〇縮小								

, ,,,, , , , , , , , , , , , , , , , ,			(評価)							
事務事業名	さくら	市いきいきク	<sup>7</sup> ラブ連合会事業			事業開	開始年度 平	成19年度		
担当課	健康福	祖部 高齢調	Ę.		担当者	安	達 恭子			
■事業の執行計	画【計									
	政策	02	福祉の充実と							
総合計画体系	施策									
	基本事	業 01	社会参加の保	建						
事業の目的	単位老	人クラブの連	携の強化を図り、	より活力	あるものにする	<b>5</b> .				
事業の概要			連合会である「ル 、活動費補助金を			へ、さくら市優	建康福祉事業複	甫助		
■事業実施結果			· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		,					
		年度	5年度		6年	 =度	74	 年度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績		· 初		
	i	総事業費	3, 058		5, 1			839		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)	]							
	指標	+6+		単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	宗	中世	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	年間延べ連携事	業数	回	52	47	48	49		
	=== /=		ᇭᇩᆠᅷᆝᅪ	A NIL'		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
法代告の	評価		既ね達成した				EL 405	- ioum#		
達成度の	= 24 00		からいきいきクラ				<sub>貝し、</sub> 19ク <sup>-</sup>	フノの利用か		
評価と説明	説明	<b>動った。</b>	7 クラブで会員数	の増加に繋	ミけることか じ	さた。				
見直し余地	判定	〇数年内(	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●糸	除地なし			
■将来方向性【		Action)			•					
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●明	!状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算		: 〇現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\		

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)					
事務事業名	シルバ	「一人材センタ	一補助事業			事業開	始年度 平	或19年度
担当課	健康福	社部 高齢説	Ę.		担当者	安	<b>達</b> 恭子	
■事業の執行計					·			
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障			
総合計画体系	施策	02	生きがいをも					
13 - 11 - 11 11	基本事	業 01	社会参加の保	建進				
±**°°			一を利用した高齢		内、短期的な意	忧業機会を確保	とし、社会参加	1(こ
事業の目的		きがいの充実						
古米の押用	シルバ	一人材センタ	一の適正な運営と	:事業促進る	を目的として、	さくら市健康	<b>毫福祉事業補助</b>	]金
事業の概要			営費補助金を交付	ナする。				
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7年	度
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	世界 本子 は、社会参加に 福祉事業補助金 7年度 当初 9,600 7年度 計画 29,804 30,10 日立を支援し、生きがいる	
	i	総事業費	9, 600		9, 6	00	9, 6	00
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)	]					
	指標	+15-1	<b>亜 夕 </b>	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	担任	票名称	甲世	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	シルバー人材セ	ンター就業延べ人数	人	30, 536	29, 509	29, 804	30, 102
	評価	」●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず		
達成度の							自立を支援し	、生きがいを
評価と説明	説明		くことができる場			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	1,000		. = 2.0 12 32					
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし	
■将来方向性【	改善(	Action)						
事業の方向性		[し継続 ●明	現状どおり継続!	〇廃止・	完了			
資源方向性		算額 ○拡大			業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書(			評価)					
事務事業名	地域介	↑護予防活動支	え 援事業			事業開	始年度	命和元年度
担当課	健康福				担当者	佐	藤 充	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障			
総合計画体系	施策	02	生きがいをも					
	基本事	3業 01	社会参加の保					
- W 1			取り組みを行う高		ハの場への財団	女支援や桜ささ	· えあいポイ	ント
事業の目的			通じて介護予防σ					- '
			た運動・体操等を			する通いの場	への運堂費等	EΦ
			ポイント事業の普			7 (0 )(110 (0 ) - 9)	WEDE:	
■事業実施結果			·1·121	<u> </u>	<del>,</del> 术以是日。			
ニテネス心やス		年度	5年度		6年		7	年度
事業費の推移	宝纸	 猿/当初予算	実績			- <u>/文</u> 績		<u> </u>
サ木貝の正的		総事業費	6.907		5.9			660
■前年度の事業		評価 (Check)	0, 307		0, 0	17	J,	000
■前十及の手术	指標		<b>.</b>	<u> </u>	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	指 指	票名称	単位	実績		計画	計画
		サルムタのマル	の担の分れ 老米 / 77		大帜	大恨	川凹	可凹
指標の推移	成果	補助対象の通い  ベ)	の場の参加者数(延	人	15, 076人	16,800人	17,000人	17,000人
		• • • •						+
	評価	▎ ▘▗▗ ▘ ▘ ▘ ▘ ▘	概ね達成した (	しょうしょう	成した 〇達	はスキギ		
法代序の	<u> 市干1</u> Ⅱ						は中だりこと	1 14 tr + 1
達成度の	= 24 11		ときっかけに、既					
評価と説明	説明		D設置にもつなが				7吊設空通い	の場か用設。
日本し合地	यहा स		- ビス等卒業者の				> 1 th	
見直し余地	判定		こ見直し可能 (	ノ赤地はめ	るかまた時间	」か必安 ●第	<u>₹地なし</u>	
	7, I	Action)	コル ドナンロ をかく士	O 15 . L	コフ			
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・			1日小 〇炉、	
<u> </u>	予導	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小	ı	業務量	○拡大	現状 〇縮/	<b> \</b>

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	介護予	防普及啓発事	業					·成19年度		
担当課	健康福	副祖部 高齢調	Ę.		担当者	佐	藤 充			
■事業の執行計										
	政策	02	福祉の充実と							
総合計画体系	施策									
	基本事		介護予防サー							
事業の目的			康まつりや福祉ま					みを		
サネッロリ			らい、市民の健康							
事業の概要	健康ま	つり等で配布	する介護予防の普	及啓発資	料の作成及び酉	₽布資料を入∤	こるエコバッ?	ブ等		
	の購入									
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度			度		年度		
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実	績		<b>当初</b>		
		総事業費	264		2:	20		263		
■前年度の事業		評価 (Check)						_		
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	161	<b>未</b> 11 117	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	資料配布数		部	238	250	250	300		
1日1示 リカー	石却	具作品训练		Пh	200	200	200	300		
	評価			)多少は達		成できず				
達成度の			丿等、様々な機会	に各種資料	∤を配布するこ	とで、市民に	対し介護予防	iに関する普及		
評価と説明	説明	啓発を図る	ることができた。							
見直し余地	判定		こ見直し可能 (	<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 ●糸	<u>k地なし</u>			
		Action) ]								
事業の方向性	〇見直			<u> 〇廃止・</u>						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	●現状 〇縮小	\		

1 100 1 01410.0	通常評		評価)							
事務事業名	介護予	防ボランティ	ア養成事業			事業開	始年度   平	成29年度		
担当課	健康福	祉部 高齢説	<u> </u>		担当者	格	和 佳那子			
■事業の執行計	画【計									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	議 02 生きがいをもたらす高齢者福祉								
	基本事		介護予防サー							
事業の目的		防ボランティ								
事業の概要	成。	施する介護予	防教室や地域の通	₤いの場でス	ドランティアと	こして関わって	こいただく方を	養		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	74	F度		
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	놸	的初		
	á	総事業費	15		5	8		31		
■前年度の事業	分析【	評価(Check)								
	指標	415.3	<b>ボ カ エト</b>	77 /T	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	t百1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移		介護ボランティ	ア養成講座受講者数	人	9	49	50	50		
	評価	」●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		研修会を記	<b>関施し、ボランテ</b>			にボランティ	アとして介護	予防教室等に		
評価と説明	説明		<sup>5</sup> 通いの場スタッ							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	金地はあ	るがまだ時間	が必要 〇紀	き地なし			
		Action)	252 - 1110 -	2 1,11 2,10 0,	U. U. T.	<u>, ,. ,. ,. , , , , , , , , , , , , , </u>				
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算		: ●現状 〇縮小	- //u /	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\		
7 CW37 7 1 1 1 1 1	, , ,	1 11.			- パカ主		70 P. O 410 1			

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	認知症	予防事業				事業開	始年度 平	成29年度		
担当課	健康福	建康福祉部 高齢課 担当者 格和 佳那子								
■事業の執行計	画【計									
	政策	02	福祉の充実と							
総合計画体系	施策	02	生きがいをも	たらす高	齢者福祉					
	基本事	業 02	介護予防サー	-ビスの充	実					
事業の目的	認知症	の予防								
事業の概要		に教室を開催	し、認知症の予防	ち、仲間づ	くりを行う					
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度		丰度		
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	빌	首初		
		総事業費	1, 574		1, 0	51	1, 9	944		
■前年度の事業		評価 (Check)								
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	161	ㅠ '니 'I'\'	<del>+</del> 12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	脳わか教室参加	人数(延べ人数)	人	127	192	100	100		
	評価	」●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		高齢期、向	前齢期の市民が参	加し軽度σ	運動や脳トレ	などを行い、	認知症の予防	を図れた。		
評価と説明	説明	l								
見直し余地	判定	' ●数年内	こ見直し可能 (	つ余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇余	き地なし			
■将来方向性【		Action)								
事業の方向性		し継続 〇明	状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性			: 〇現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\		

1 100 1 VIVE   1	通常評価	西事業 事後	:評価)					
事務事業名	一般介	護予防教室事	業			事業開	始年度	和元年度
担当課	健康福	祉部 高齢調	<b>*</b>		担当者	f 佐戸	藤 結香	
■事業の執行計								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障			
総合計画体系	施策	02	生きがいをも	たらす高	齢者福祉			
10 41 41 41	基本事	業 02	介護予防サー					
事業の目的			対象に介護予防の			を開催		
事業の概要	教室なる	うゆうウォー どを開催	キング、あおぞら	元気塾、	各地の通いの場	<b>湯等を訪問して</b>	実施する高齢	令者
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7年	F度
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	i初
	级	8事業費	3, 201		3, 1	52	3, 5	586
■前年度の事業	分析【訂	平価 (Check)						
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	181	示句例	中世	実績	実績	計画	計画
指標の推移		元気塾参加者チ 改善項目数	ェックリストの平均	項目数	△0.5項目	0.3項目	1.0項目	1.0項目
	評価	〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず	•	
達成度の		成果指標は	は、平均値で0.3項	目の改善	となった。コロ	コナが5類に移	行したことで	日常的な外出
評価と説明	説明	の機会が増	曽加したこと、介	護予防や優	健康に対する意	欲が向上して	いることが原	因と考えられ
		る。						
見直し余地	判定	●数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	<del>≷</del> 地なし	
■将来方向性【	改善(A	ction) ]						_
事業の方向性	●見直	し継続 〇明	!状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	額  ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	(評価)								
事務事業名	趣旨普	及事業				事業開	始年度  平	成17年度			
担当課	健康福	祉部 高齢認	₹		担当者	佐原	<b>藤 美冴</b>				
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				·					
	政策	02	福祉の充実と								
総合計画体系	施策	策 2 生きがいをもたらす高齢者福祉									
	基本事	業 03	介護サービス	スの適正利	用						
事業の目的	介護保	険対象者にサ	ービスの利用方法	፟፟፟፟፟・種別・≛	手続き・費用・	納付額などを	周知する。				
事業の概要	介護保	<b>険制度</b> 周知用	パンフレット及び	が介護保険	<b>抖納付書送付時</b>	啓発パンフレ	/ット等の作成	<b>t</b> .			
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	度	7年	F度			
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績	績	ット等の作成。				
		総事業費	340		32	8	4	82			
■前年度の事業	分析【	評価(Check)									
	指標	+6+	標名称	単位	5年度	6年度					
	区分	1日1	际位	中世	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	活動	パンフレット等	作成数	部	6, 800	6, 900	7, 000	7, 000			
	評価	」●達成、	概ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず		•			
達成度の		窓口配布月	用パンフレットや	、介護保険	料納付書に同	封する啓発パ	ンフレット等	を作成し、介			
評価と説明	説明	護保険制度	度について周知し	た。							
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	<b>*地なし</b>				
	改善(	Action)					-				
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・	完了						
資源方向性	予算		、●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小				

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	(評価)							
事務事業名	介護的	B設公募事業				事業開	開始年度 平	成26年度		
担当課	健康福	証証部 高齢詞	 果		担当者	佐	藤 美冴			
■事業の執行計										
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	策 02 生きがいをもたらす高齢者福祉								
	基本事		介護サービス							
			保健福祉計画に基			ひを整備するこ	上 人 を 公 亚 仁 语	星宁:		
事業の目的	する。	디에에 다 내용(마니)	不)还面证可图1~3	S 7 C \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		又で正開するな	3/1 C A 1 1 C E	<u> </u>		
		はなったないた	整備する法人を選	空中 オスカン	カに注   宰本え	そ日	r z			
事業の概要	七八休	健性に心はと	歪 開り る ムハ て と	きたり るん	のに仏八田旦っ	女貝女で別位と	<b>つ</b> る。			
■事業実施結果	【実施	(Do) ]								
■争未天旭和朱	<u>【天</u> 旭		「 「 「 」		C.A	- <del> </del>	1 7 <i>t</i>	- <del>-</del>		
古光井の井が		年度	5年度			E度		F度		
事業費の推移		漬/当初予算	実績			·績		初		
		総事業費	55			0		0		
■前年度の事業		評価 (Check)								
	指標	指	標名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	10	1x 11 1/1·	+12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	  法人審査委員会	即供同粉		1	0	1			
行行をひたり	/白刬	<b>広八</b> 田五女貝云	用准凹奴	Щ	•	U	I			
	評価	■ 〇達成、	概ね達成した(	●多少は達	成した 〇道	成できず	•			
達成度の			度は開催実績なし							
評価と説明	説明		度に審査会開催予		介護施設整備	事業」に組替	予定。			
11 Im C 176.71	пло-у	1 1218 / 17	文10日五五四元	X21210 (	71 12 11 12 11	17 N 1 1 - 1 E E	1 ~~ 0			
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(	つ金地はあ	るがまだ時間	が必要 ●会	地なし			
		Action) ]			0.0 0.1CHI		1,50.0			
事業の方向性			見状どおり継続	●廃止・ <del>3</del>	<b>₽</b> 7					
資源方向性		算額 〇拡え			人 <u>」</u>   業務量	O拡大 (	)現状 ●縮小	<u> </u>		
	ľ			•	木仂里		ノガハ ●船1	•		

事務事業調書(诵常評価事業 事後評価) 事務事業名 住宅改修支援事業 事業開始年度 平成18年度 担当課 美冴 健康福祉部 高齢課 担当者 佐藤 ■事業の執行計画【計画 (Plan) 政策 福祉の充実と安心の社会保障 施策 02 生きがいをもたらす高齢者福祉 総合計画体系 介護サービスの適正利用 基本事業 ケアマネジャー (介護支援専門員) と契約をしていない要介護・要支援認定者の住宅改修 事業の目的 サービスの利用を円滑にする。 介護支援専門員と契約がない要介護・要支援認定者が住宅改修を行う場合に、改修費の給付 事業の概要 を受け取るために必要な支給申請に係る理由書等を作成した者に対して補助金を交付。 ■事業実施結果【実施(Do) 年度 5年度 6年度 7年度 実績 当初 事業費の推移 実績/当初予算 実績 総事業費 2 2 10 ■前年度の事業分析【評価 (Check) 5年度 6年度 7年度 8年度 指標 指標名称 単位 実績 実績 計画 区分 計画 当該事業を利用し、住宅改修を行っ 成果 指標の推移 人 5 5 た人数 ○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず 評価 達成度の 該当のある度に、制度の説明と申請案内を対象者に対して行った。 評価と説明 説明 判定 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし 見直し余地 〇数年内に見直し可能 ■将来方向性【改善(Action) 事業の方向性 〇見直し継続 ●現状どおり継続 〇廃止・完了 資源方向性 予算額 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小 【○拡大 ●現状 ○縮小

			評価)							
事務事業名	高齢者	等在宅サーヒ	『ス総合事業			事業開	始年度  平	成27年度		
担当課	健康福	祉部 高齢説	2		担当者	安	<b>達</b> 恭子			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			•	•				
	政策	02	福祉の充実と	と安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	策 02 生きがいをもたらす高齢者福祉								
	基本事	業 99	総合事業							
事業の目的	安全で	安心な生活の	確保と継続的なる	E宅生活がi	送れるようにす	<sup>-</sup> る。				
事業の概要	器等購	入助成等)	緊急通報装置貸与	・、給食サー	- ビス、生活す	援サービス、	住宅用火災警	報		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7年	- 度		
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	当	初		
	á	総事業費	8, 077		8, 9		10,	179		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)	]							
	指標	+15-1	<b>あな</b> 状	光上	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	拍	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	緊急通報装置貸	与事業決算額	千円	4, 841	5, 139	5, 751	5, 808		
	成果	給食サービス事	業決算額	千円	2, 933	3, 529	4, 004	4, 044		
	評価	」  ●達成、ホ	既ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		高齢者のみ	サ世帯の方や重度	障がい者が	で在宅で自立し	た日常生活を	営めるよう各	種サービスを		
評価と説明	説明	適宜実施し	た。							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇余	き地なし			
■将来方向性【		Action)								
事業の方向性		し継続 ●明	現状どおり継続	〇廃止・	<del></del> 完了					
資源方向性	予算				業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

			評価)							
事務事業名	計画策	定事業				事業開	始年度 平	<sup>z</sup> 成26年度		
担当課	健康福	社部 高齢説	Ę.		担当者	佐	藤 美冴			
■事業の執行計										
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	02	生きがいをも							
13 - 11 - 11 11	基本事	本事業 99 総合事業								
±** 0 0 44	3年毎1	こ高齢者総合係	保健福祉計画を策	定し、介護	給付見込み及	び社会情勢等	を反映させた	-保		
事業の目的			とにより、適正な							
—			る高齢者福祉計				し、計画期間	fl3か		
事業の概要			額や高齢者施策等				O			
■事業実施結果	【実施				7,12,12,72,1					
		年度	5年度		6年	度	7	年度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績		当初		
	i	総事業費	2, 914			.8		104		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)	]							
	指標	+6.	<b>亜 夕 </b>	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	<b>打</b> 目 1	票名称	中世	実績	実績	計画	計画		
お海の揺む	活動	作成委員会、幹	<b>市人間世川米</b>		1	0	0	4		
指標の推移	冶勁	TF风安貝云、轩	争云用惟什致	Ш	4	U	U	4		
	評価	」●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇遺	成できず		•		
達成度の		第8期さく	ら市高齢者総合係	R健福祉計i	画の令和5年度	分について評	価を行い、記	平価結果を公表		
評価と説明	説明	した。								
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●分	≷地なし			
■将来方向性【	改善(	Action) ]	<u>-</u>							
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●理	状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算	算額 ●拡大			業務量	●拡大 ○	現状 〇縮/	١,		

9 350 9 514 May 1 1		<b>五常評価事業 事後評価</b> )							
事務事業名	温泉券	発行事業				事業開	始年度   平月	成26年度	
担当課	健康福	祖部 高齢語	Ę.		担当者	安	主 恭子		
■事業の執行計	画【計				•				
	政策	02	福祉の充実と	と安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	02	生きがいをも						
10 11 11 11	基本事	業 99	総合事業						
事業の目的			配布することによ	らり、健康の	の維持と生きか	「いの高揚を図	]る。		
事業の概要	浴利用	証を交付する	、その年度内に清 。	葛65歳に到過	<b>達する者を含む</b>	ご65歳以上の高	が齢者等に温泉	入	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績当初		初		
	i	総事業費	30, 917		32, 1		7年度 当初 31, 482 7年度 8年度 計画 計画		
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】									
	指標	+15.4	<b>ボ ク 1</b> ケ	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	<b>打</b> 百个	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	支給件数		人	5, 800	5, 853	6, 008	6, 240	
	評価	」●達成、	概ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の		事業のPRI	は市広報や行政区	回覧により	充分に行って	おり、希望者	や必要な方への	の交付はすべ	
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	? ○数年内	こ見直し可能	●全地けあ	るがまだ時間	が必要 〇全	き地なし		
		Action)		- /\\ /E1G (V)	0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	170 XL1 X O /1	·		
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・	<b>≑</b> 了				
資源方向性			<u>t伙と85分極机</u> : ●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ■	現状 〇縮小		
タルバノ コウコ	J´ <del>J</del>			•	<b>木</b> 切里				

事務事業調書(	(通常評価事業 事後評価)								
事務事業名	生活。	5援体制整備事	業			事業開	始年度 平	成29年度	
担当課	健康福	晶祉部 高齢語	Ę.		担当者	佐	藤 充		
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】				<u> </u>			
	政策	02	福祉の充実と	−安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	02	生きがいをも	たらす高	齢者福祉				
	基本專	5業 99	総合事業						
古米の口が	地域包	括ケアシステ	ムの構築に向け、	地域のニ-	-ズ把握、新力	とな生活支援も	ナービスの創と	<b>Ľ</b> 、	
事業の目的			マッチング等を行						
事業の概要	生活支	援コーディネ	ーターの配置、生	E活支援協詞	義会の開催。				
争未の似安									
■事業実施結果	【実施	i (Do)							
		年度	5年度		6年	度	74	丰度	
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	<b>á初</b>	
		総事業費	5, 208		6, 4	98	6,	7年度 当初 6,933	
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	ti:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	JH1	宗17 17	丰匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果		ィネーター配置数		3	3	3	3	
1日1示り71年19	从木	工作又版 1	イイ・アー 配色数		0	0	0	J	
	活動	生活支援協議会	思催回数		12	12	12	12	
	,,,,,,,			-			12	12	
	評估		既ね達成した (						
達成度の			に開始した住民主						
評価と説明	説明		5開催している。		むすび隊では	:、ウォーキン	グイベントや	交流イベント	
	など具体的な取り組みを行っている。								
見直し余地	判员		こ見直し可能 (	<u>) 余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 ●糸	<u>   地なし</u>		
		(Action) ]							
事業の方向性			状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\	

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	地域包	!括支援センタ	7 一運営事業			事業開	始年度 平	成18年度	
担当課	健康福	祖部 高齢調	<b>R</b>		担当者	鈴:	木 麻由		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	02	福祉の充実と	−安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	02	生きがいをも	たらす高	齢者福祉				
	基本事	基本事業 99 総合事業							
古世の口む		齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活が維持できるように、介護サービスや							
事業の目的		受けられる。							
<b>丰业</b> 。加工			、総合相談、関係	系者とのネ・	ットワーク構築	を、高齢者の心	身や生活状況	2 <i>0</i>	
事業の概要			適切な保健、医療						
■事業実施結果	【実施			.,,					
		年度	5年度		6年	度	7年	- 度	
事業費の推移	実績/当初予算		実績			績			
	á	総事業費	31, 195		39, 2				
■前年度の事業	F度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+15-1	ー ー の か	光上	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	拍	漂名称	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	総合相談件数		件	2, 242	2, 387	2, 400	2, 400	
担保の推修	八米	心口怕談什数		1+	2, 242	2, 307	2, 400	2, 400	
	評価	」  ●達成、	概ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず		•	
達成度の		相談件数は	は年々増加してい	るが、内容	『も多様化して	おり、高齢者	への支援だけ	では解決しな	
評価と説明	説明	いケース	も多い。また、親	族の支援を	得られないケ	ース等困難事	例も増えてき	ており、包括	
		職員の精神的な負担が増している。							
見直し余地	判定	<ul><li>〇数年内I</li></ul>	に見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし		
■将来方向性【		Action) ]							
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●明	見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 ○拡大		,	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(	通常評	<b>五常評価事業 事後評価</b> )							
事務事業名	地域医	療介護総合確	霍保基金事業			事業開	始年度 平	成27年度	
担当課	健康福	祉部 高齢説	Ę.		担当者	佐	藤 美冴		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	対策							
総合計画体系	施策	5策 02 生きがいをもたらす高齢者福祉							
10 11 11 11	基本事	業 99	総合事業						
事業の目的			ービス基盤を計画	的に整備す	することで、+	ナービスの充実	€を図る。		
事業の概要	募し、	整備法人に対	別養護老人ホー <i>L</i> し補助金を交付す		多機能型居宅介	<b>下護事業所を</b> 勢	整備する法人を	公	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	<b>∓</b> 度	
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	当初	
	;	総事業費	24, 000		58, 3	302	7年度 当初 168, 109 7年度 8年度 計画 計画		
■前年度の事業	分析【評価(Check)】								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度			
	区分	打日1	宗	中位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	施設整備率		%	98. 4	100	100	100	
	評価				成した 〇達				
達成度の			<b>卜護総合確保基金</b>					支出。	
評価と説明	説明	説明 R6.8実績報告提出・額確定を行い、R6繰越にて58,302,000円を支出。							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●分	≷地なし		
■将来方向性【	改善(	Action) ]							
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●明	!状どおり継続	〇廃止・	<del></del> 完了				
資源方向性	予算	算額 ┃●拡大	、〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 ○	)現状 〇縮小	\	

事務事業調書(	通常評価	西事業 事後	:評価)						
事務事業名	家族介記	獲者教室事業				事業開	始年度 平	成18年度	
担当課	健康福祉	祉部 高齢調	₹		担当者	佐	藤 結香		
■事業の執行計	画【計画	(Plan)							
	政策	02	福祉の充実と	と安心の社	会保障				
総合計画体系	施策	02	生きがいをも						
10 11 11 11	基本事業	業 99	総合事業						
事業の目的			担軽減を図る。						
事業の概要		家族の負担を	軽減するための請	構演会や介護	養者家族同士 <i>0</i>	)話し合いの場	<b>易を設ける。</b>		
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	74	年度	
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	<b>á初</b>	
	総	事業費	61		15	50		47	
■前年度の事業	の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	TE T	示句例	中世	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	家族介護者教室	参加者数	人	54	150	150	150	
	評価	■●達成、村	既ね達成した (	○多少は達	成した 〇達	成できず	•	·	
達成度の		心理学を修	多めた僧侶を講師	に招き、介	、護に対する負	担や不安と上	手に付き合う	方法や心構え	
評価と説明	説明	などを学え	ぶ講演会を実施し	た。					
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし								
		ction)】	- 元旦しり化 (	ノホルはめ	07.4/5141	<i>N'\</i> \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	マルドグ し		
事業の方向性			14 ビセリ継結	○	≐マ				
<u>事業の方向性</u> 資源方向性	○見直し継続								
具까刀凹性	ア昇	供 ▼払人	:〇現状 〇縮小	1	未伤里	○拡大	現状 〇縮小	`	

事務事業調書(	通常評価		評価)					
事務事業名	認知症	サポーター養	<b>表成事業</b>			事業開	始年度   平月	成22年度
担当課	健康福	祉部 高齢調	2		担当者	格和	和 佳那子	
■事業の執行計	画【計画	回 (Plan) 】			·	,		
	政策	02	福祉の充実と	と安心の社	会保障			
総合計画体系	施策	02	生きがいをも					
	基本事	業 99	総合事業					
事業の目的			を図ることで、認	図知症を患っ	った方への適り	]な対応能力を	身につける。	
争未の日的								
申業の揺曲			イト連絡協議会に					学
事業の概要	習会(記	忍知症サポー	ター養成講座)を	₽開催し、₺	也域の認知症も	⊦ポーターを育	『成する。	
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7年	度
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実	績	当初	
	総	事業費	115		10		20	
■前年度の事業	業分析【評価(Check)】							
	指標	+15.4	<b>西夕</b> 折	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	打日1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果:	羽知症 サポータ	一数(延べ人数)	Y	7, 923	8, 414	9, 000	9, 500
1日1示り71年19	从未	心が近りパーク	奴(建一八奴)		7, 320	0, 414	3, 000	3, 300
	評価		既ね達成した (					
達成度の			学校に通う4年生の					継続して
評価と説明	説明	行った。台	う後は受講者の少	ない20歳~	・64歳の受講機	会の創出もエ	夫していく。	
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	⊃余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	₹地なし	
■将来方向性【	7 T	ction) ]						
事業の方向性	〇見直		!状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	額  ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	-

事務事業調書(										
事務事業名	介護力	八門研修事業				事業開	始年度			
担当課	健康福	a祉部 高齢調	7		担当者	佐	藤 充			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	02	福祉の充実と	と安心の社	会保障					
総合計画体系	施策	02	生きがいをも							
	基本事	39	総合事業							
事業の目的	介護サ	ービスに従事	する人材を育成す	<b>する</b>						
事業の概要	ター)	や介護保険関	く研修を開催し、 係事業所に勤務す			上る人材 (生活	ち支援サポー			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7년	丰度		
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実	績	빌	首初		
		総事業費	360		4	0	4	7年度 当初 400		
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	7日1	示句你	丰四	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	入門的研修受講:	者数	人	0	0	0	0		
	成果	生活援助従事者		人	9	1	10	10		
	評句	┧ ○達成、村	既ね達成した (	○多少は達	成した ●達	成できず				
達成度の		生活支援サ	<b>ナポーター認定の</b>	ため介護・	予防に関する	座学や実習を				
評価と説明	説明		こきたこと、訪問				ため、R2から	ら生活援助従		
	事者研修の実施に切替え。R6の受講者は1人で内0名が就職。									
見直し余地	判定		こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	除地なし			
■将来方向性【		Action) ]								
事業の方向性			状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\		

事務事業調書(		<u> </u>	評価)						
事務事業名	認知症	総合支援事業					開始年度 平	成29年度	
担当課	健康福	祖部 高齢語	Ę.		担当者	格	和 佳那子		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				·			
	政策	02	福祉の充実と						
総合計画体系	施策	02	生きがいをも	たらす高	齢者福祉				
	基本事	業 99	総合事業						
事業の目的			地域で安心して暮	手らしてい	くための体制で	づくり			
事業の概要	認知症	の者の支援や	援チームの設置及 体制の整備。認知				)配置し、認知	印症	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	F度	7:	年度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	:績	当初		
	á	総事業費	3, 213		3, 7	<sup>'</sup> 16	8,	279	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	7日1	宗口你	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	認知症カフェ設	置数	設置数	5	5	5	5	
	成果								
	評価	) \(\frac{1}{2}\)		う多少は達		<b>፤成できず</b>		·	
達成度の 評価と説明	説明	市民ボランティアによる認知症カフェの設置・運営が継続的に実施されている。 説明							
見直し余地	判定	○数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●糸	戻地なし		
■将来方向性【	改善(	Action) ]							
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●明	見状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算		、●現状 〇縮小		業務量	○拡大●	●現状 〇縮小	١	

1 100 1 1 1 1 NO. 1 NO. 1	通常評価		評価)								
事務事業名		<b>利用者負担</b>	型対策事業			事業開	始年度  平	成26年度			
担当課	健康福祉	上部 高齢語	Ę.		担当者	佐	藤 美冴				
■事業の執行計											
	政策	02	福祉の充実と	安心の社	会保障						
総合計画体系	施策	02	生きがいをも	たらす高	齢者福祉						
	基本事業	€ 99	総合事業								
事業の目的			護保険サービス和	川用時の負担	旦軽減を図る。						
事業の概要	に、規定		活困窮者(低所得 助成措置を行 <mark>う</mark> 。	骨者)に対し	し自己負担額を	を軽減する措置	置を行った場合	<u> </u>			
■事業実施結果	【実施(	Do)									
	4	年度	5年度		6年	- 度	74	年度			
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実	績	7年度 当初 109				
	総	事業費	49		1	07	1	09			
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	打日1	宗	単位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果利	用者負担軽減	者数	人	5	5	5	5			
	評価	●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇遺	成できず					
達成度の		申請がなる	れ対象に該当し	た5人に対	し負担軽減確認	認証を発行した	と。また、対象	象者に対する			
評価と説明	申請がなされ対象に該当した5人に対し負担軽減確認証を発行した。また、対象者に対する 説明 費用軽減に伴う社会福祉法人からの補助金交付申請は、令和6年度は実績なしとなった。							となった。			
				5 A 1-1 - 1-	ス が士 だ 味胆	またい 田 🕳 🗸	>+uh +> 1				
目店 全州	判定	○数年内	- 目直   可能 /	)全棚けな	JOH O WAS THE SHOP OF THE CAME OF THE SHOP						
	判定改善(Ac		こ見直し可能 (	<u>)余地はあ</u>	るかまた時間	」か必安 ●オ	・地なし				
■将来方向性【	改善(Ac	tion) ]				]が必安 ● オ	₹地なし				
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	)	tion)】 人継続 ● 野	見状どおり継続	〇廃止・			現状 〇縮小	\			

			評価)					
事務事業名	在宅高	高齢者等紙おも				事業開	始年度   平月	或17年度
担当課	健康福	晶祉部 高齢調	Ę.		担当者	安	<b>達</b> 恭子	
■事業の執行計	画【計				·			
	政策	02	福祉の充実と					
総合計画体系	施策	02	生きがいをも	たらす高	齢者福祉			
	基本引	5業 99	総合事業					
事業の目的	対象者	本人及び家族	の紙おむつに要す	る費用の網	経済的負担を軽	E減し、高齢者	<b>等の福祉の向</b>	上
争未の日的	と共に	快適な日常生	活を送れる状態と	:する。				
事業の概要			上と認定された高				そとしている方	il:
			<ul><li>2は2,000円)</li></ul>	の紙おむ	つ給付券を交付	Ϳする。		
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7年	度
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	当初	
		総事業費 10,908			12, 9		14, 2	219
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+64	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	担任	宗石仦	単位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	紙おむつ給付券 末)	利用実績枚数(年度	枚	3, 297	4, 087	4, 455	4, 856
	成果	紙おむつ給付額	(年度主)	千円	10, 900	12, 968	14, 208	15, 487
	,,,,,,,						14, 200	10, 407
	評句			う多少は達		成できず		
達成度の			<b>し及び家族の紙お</b>	むつに要す	「る経済的負担	が軽減できて	いる。	
評価と説明	説明	月						
見直し余地	判员	E   〇数年内	こ見直し可能 (	⊃余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし	
	71	(Action) ]						
事業の方向性	事業の方向性   ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了							
資源方向性	予1	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書(	通常評価	西事業 事後	:評価)							
事務事業名	介護認:	定審査事業				事業開	始年度 平	成17年度		
担当課	健康福	祉部 高齢調	2		担当者	佐	藤 美冴			
■事業の執行計										
	政策	02	福祉の充実と							
総合計画体系	施策	02	生きがいをも	たらす高	齢者福祉					
	基本事	本事業 99 総合事業								
古米の口的	介護保障									
事業の目的	額・サ-	ービスの種類	を定める。							
事業の概要	介護認定	定審査会の開	催や介護認定支援	受システム値	呆守管理及びシ	ステムリース	料等に要する	る費		
争未の似安	用を支持	払う。								
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7:	年度		
事業費の推移	実績	責/当初予算 実					当初			
	级	8事業費	5, 541		5, 623 5, 683		683			
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】										
	指標	+6+	票名称	単位				8年度		
	区分	181	示句你	丰位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移										
担信の推修										
	評価	●達成、	既ね達成した (	)多少は達	成した 〇達	成できず		·		
達成度の										
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	●数年内	こ見直し可能 (	O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇余	≷地なし			
■将来方向性【	改善(A	ction) ]						_		
事業の方向性			状どおり継続	〇廃止・	<del></del> 完了					
資源方向性	予算	額 〇拡大	: ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 C	)現状 〇縮小	١		

事務事業調書(	通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	福祉タ	クシー事業				事業開	始年度   平月	或17年度		
担当課	健康福	副社部 高齢調	₹		担当者	安	<b>達</b> 恭子			
■事業の執行計		画(Plan)】			,					
	政策	枚策								
総合計画体系	施策	・施策								
	基本事		総合事業							
事業の目的	外出時	に電車、バス	等の交通機関を利	川用するこ。	とが困難な高齢	合者等の交通の	)便の確保と一	·部		
争未の日的	経費を	助成すること	により、福祉の増	曽進と快適フ	な社会生活を迫	<u> きれるようにす</u>	<sup>-</sup> る。			
事業の概要			の運転が困難でな					方		
争未の似安	にタク	シー料金の基	本料金分を助成す	「る利用券を	を年間72枚交付	† (75歳以上9	6枚)			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年		7年			
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績当初		初			
		総事業費	9, 520		11, 0	98	14, 2	14, 264		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指:	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	<b>未</b> 11 1小	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果		利用実績枚数(年度	枚	18, 836	21, 974	28, 284	30, 000		
74 177 74 15		末)			,			,		
	成果	福祉タクシー助	成額 (年度末)	千円	9, 418	10, 987	14, 142	15, 000		
	= = 1 =	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	町45 キーナー イ	これ 小はき			,	,		
法代告の	評価			3多少は達		成できず	1,7			
達成度の	= 24 00		人の外出時の交通	于段の唯保	に経済的負担	か軽減じざし	いる			
評価と説明	Table 1									
見直し余地	判定   ○数年内に見直し可能   ○余地はあるがまだ時間が必要   ●余地なし									
事業の方向性										
資源方向性	○見直し極続   ●現状とおり極続   ○廃止・元									
	J′ <del>J</del>				木仂里					

事務事業調書(通常評価事業 事後評価)									
事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業				事業開始年度 平成29年度				
担当課	健康福祉部 高齢課				担当者	格	和 佳那子		
■事業の執行計画【計画(Plan)】									
	政策								
総合計画体系	施策 02 生きがいをもたらす高齢者福祉								
	基本事業 99 総合事業								
事業の目的	在宅による医療、介護を一体的に提供することができる体制の確立								
事業の概要	在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、医療、介護の連携のための検討を行っていく。								
■事業実施結果【実施(Do)】									
事業費の推移	2	年度	5年度		6年度		7年度		
	実績/	′当初予算	実績		実績		当初		
	総事業費		348		237		331		
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
指標の推移	指標	標指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	扫作	示句例	中江	実績	実績	計画	計画	
	活動在	宅医療・介護	連携推進会議開催数	回数	5	5	5	5	
	評価	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず							
達成度の	在宅医療・介護連携推進協議会において、医療と介護の連携について検討した。委員以外も								
評価と説明									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし								
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性   ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									